



湊川短期大学対談取材 日時：平成28年5月2日（月） 場所：湊川短期大学

# 湊川短期大学 X 市議会

市内には学生が学ぶ大学、短期大学があります。学生を取り巻く課題や、学校として特に取り組んでいることなどを湊川短期大学に訪問し、お話をお聞きました。

## —— 湊川短期大学が目指す教育は？

**山野上常務理事**：湊川が目指している教育は自ら学ぶそして一生学び続けること。その心構えを学生の体に染み込ませる。学生たちは高校までの「覚える」というシステムから「考える」という教育システムに変わることを自覚しないと受身の教育で終わってしまう。自ら学ぶ姿勢を持っていなければ自分から働きかけて成長することは難しい。自ら学ぶ姿勢が一生必要ではないかと思う。学生には自分の道は自分で切り拓く力を身につけさせる教育を行っていくことが大切である。



将来益々ニーズが高くなりぜひ充実させたいと思うが、残念ながら応募学生が少ない。実習をうけた学生はやりがいを感じてくれていて尊い仕事であるが、社会全体が助めてくれない。さらに介護報酬が低いことや介護をとりまく暗い部分が報道される度に社会を刺激して、結果的に介護福祉士を目指す学生が少なくなっている。

## —— 学校として具体的に取り組まれているものは？

**山野上常務理事**：授業の中でどのような形で社会に貢献したいかということを考えさせる。考えたことをすぐに文章に書かせる。考えているうちは混沌の世界だが、文章にすることによって思考になり定着する。短い文章で自分の考えをまとめ、時々3から4人ずつのグループで短時間の意見交換をさせて、その間教員は口を挟ま

## —— 学校が抱える課題は？

**山野上常務理事**：介護福祉士を養成するコースは

ないようにすることによって、学生たちが自ら考え始める。

また、三田には農業や焼き物など魅力的なものがある。地域で活躍している人と学びを連携できないか模索している。学生が参加できる週末のプログラムがあれば、参加してほしいと願っている。

## —— 学校からみた市の課題は？

**山野上常務理事**：幼稚園教育や介護福祉士の資格は、4年制大学や短期大学でも取ることが出来、4年制大学では授業のない日や空き時間もある。一方短期大学は4年で行うカリキュラムを2年で行わなければならない、時間が限られている。そのため街に出かけていく時間もない。アルバイトをするにしても学校付近には働く場所がないので、三田の市街地や神戸市などの市外に行かなければならない。全体的に働く場所が少ないように思われる。

## —— 行政に望むことは？

**山野上常務理事**：授業料軽減のなにか措置があるとありがたい。今の奨学金は大半が貸与型だが、例えば就職後5年間三田市内で働いたら返済を免除するというような給付型の奨学金制度があれば学生たちの力にな

# 「自ら学び 一生学び続ける教育！」



学校法人  
湊川相野学園常務理事  
山野上 素充さん

る。学校としては、入学金、授業料の一部免除の奨学金を出しているが、これには限度がある。

## —— 広報誌をみての感想は？

**山野上常務理事**：「議会ヒストリー」という囲み記事があるが、3月号の「三田市の文化特産品を守り伝えたい」と言う見出しはインパクトがないので「三田牛はどうなるのだろう」と言うような表現にされたら良いのかなと思った。



湊川短期大学パンフレットより